

2025年3月期 決算説明会

2025年5月13日

 山一電機株式会社

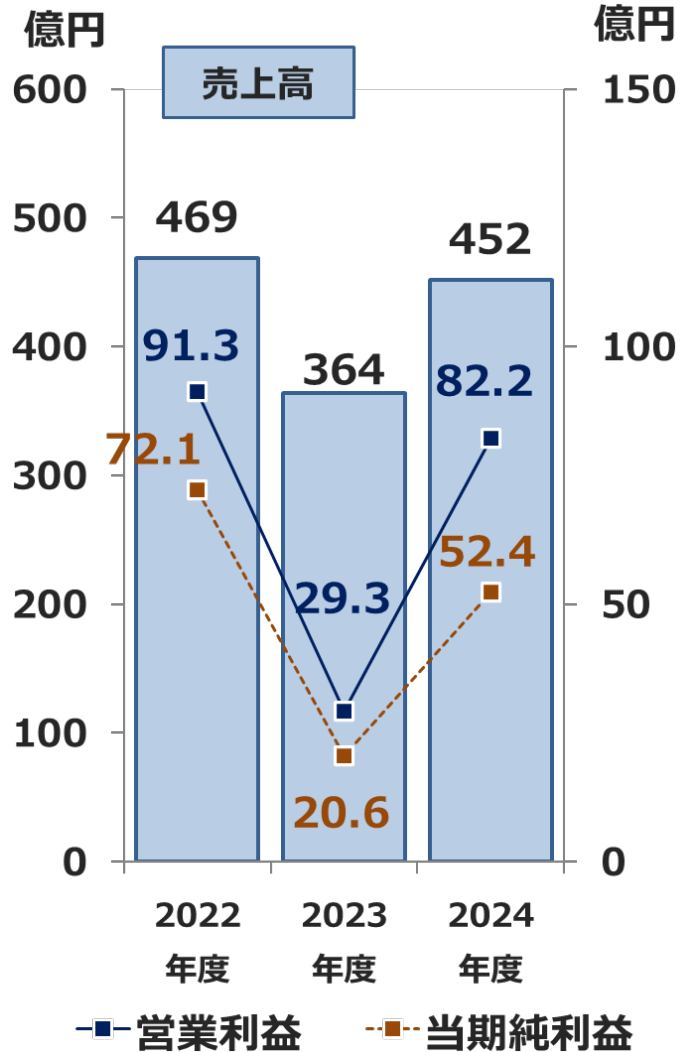
- 【1】 2024年度（2025年3月期） 業績結果
- 【2】 2025年度（2026年3月期） 業績予想
- 【3】 中長期的な成長に向けて

本説明資料内に記載の各事業名の略称について

| 事業名 | 事業名略称 |
|---------------|-------|
| テストソリューション事業 | TS事業 |
| コネクタソリューション事業 | CS事業 |
| 光関連事業 | OPT事業 |

【1】 2024年度 業績結果

◆ 業績結果



| 単位：億円 | 2023年度 通期実績 | 2024年度 | | 前年 同期比 | 前年同期 増減率 |
|---------|----------------|-----------------|---------|-----------|-------------|
| | | '25年2月5日 公表値 | 通期実績 | | |
| 売上高 | 364 | 460 | 452 | 88 | 24.4% |
| 営業利益 | 29.3 | 80.0 | 82.2 | 52.9 | 180.4% |
| 経常利益 | 29.1 | 77.0 | 76.8 | 47.7 | 163.8% |
| 当期純利益 | 20.6 | 50.0 | 52.4 | 31.8 | 154.4% |
| EPS (円) | 100.43 | 246.99 | 259.47 | 159.04 | ---- |
| BPS (円) | 1862.43 | ---- | 2037.62 | 175.19 | ---- |

| 為替レート | FY2023 | FY2024 | 増減 |
|---------|--------|--------|------|
| USD (円) | 144.64 | 152.56 | 7.92 |
| EUR (円) | 156.81 | 163.73 | 6.92 |

【1】 2024年度 業績結果

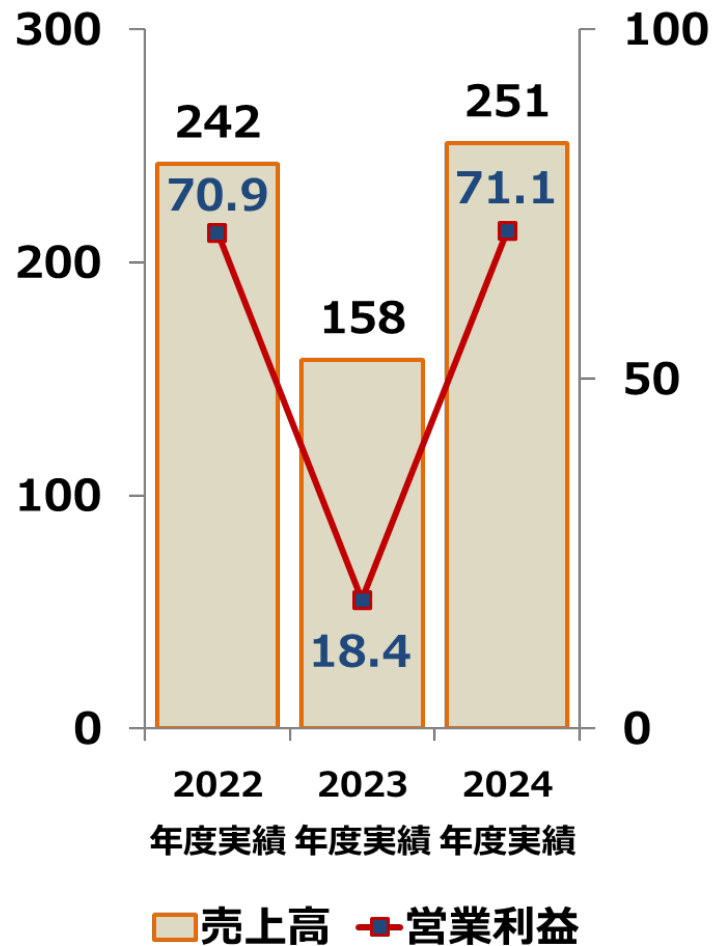
◆ 事業別業績結果

| 単位：億円 | | 2023年度 通期実績 | 2024年度 | | 前年 同期比 | 前年同期 増減率 |
|-------|-----------------|----------------|-----------------|-------|-----------|-------------|
| | | | '25年2月5日 公表値 | 通期実績 | | |
| TS事業 | 売上高 | 158 | 259 | 251 | 92 | 58.5% |
| | 営業利益 | 18.4 | 73.0 | 71.1 | 52.6 | 285.5% |
| CS事業 | 売上高 | 192 | 188 | 189 | ▲ 2 | -1.5% |
| | 営業利益 | 9.2 | 7.7 | 12.1 | 2.8 | 30.5% |
| OPT事業 | 売上高 | 13 | 12 | 12 | ▲ 1 | -8.7% |
| | 営業利益 | ▲ 0.2 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | ▲ 0.0 | ---- |
| その他 | 営業利益 (連結調整額) | 1.8 | ▲ 0.3 | ▲ 0.7 | ▲ 2.5 | ---- |
| 合計 | 売上高 | 364 | 460 | 452 | 88 | 24.4% |
| | 営業利益 | 29.3 | 80.0 | 82.2 | 52.9 | 180.4% |

【1】 2024年度 業績結果

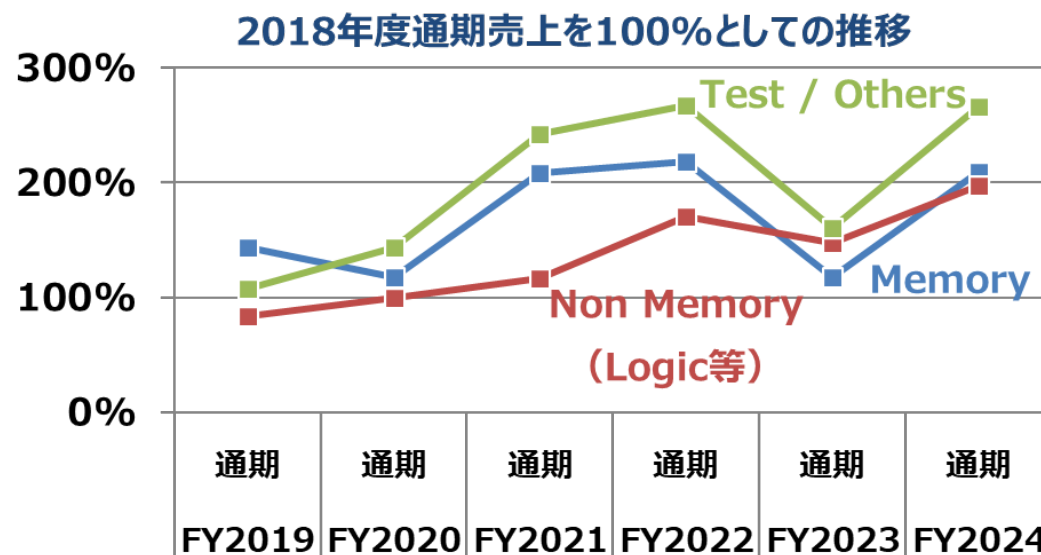
◆ TS事業 業績結果

単位：億円 TS事業



| TS事業 | 前年同期比 | 前年同期増減率 |
|------|--------|---------|
| 売上高 | 92億円 | 58.5% |
| 営業利益 | 52.6億円 | 285.5% |

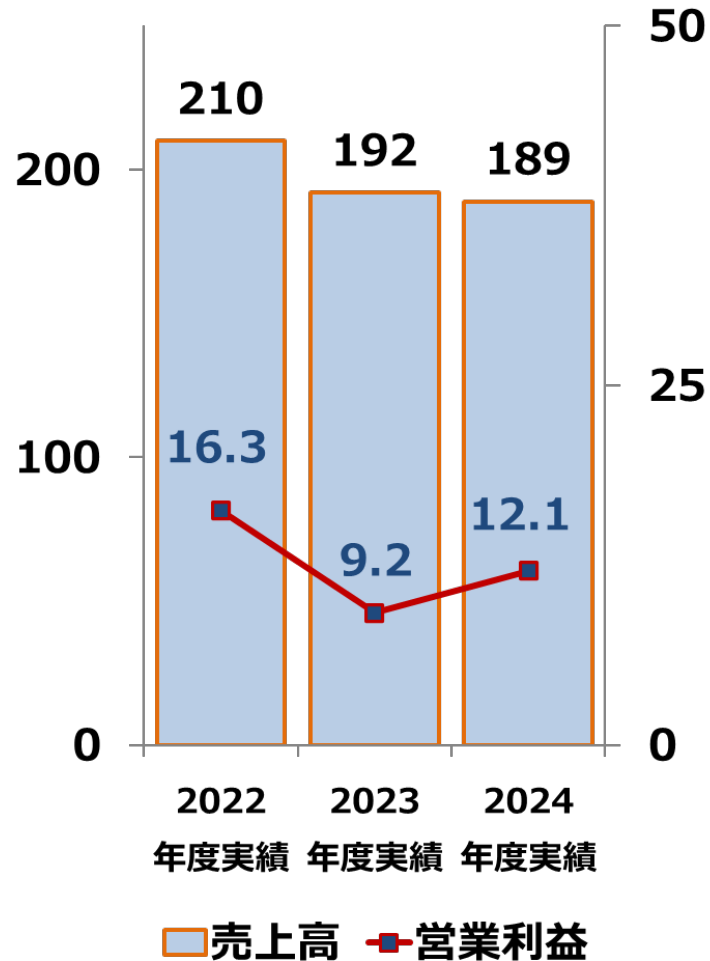
- ◆ テスト用ソケットは、スマートフォン及びP C向け製品の販売が好調に推移しました
- ◆ ロジック半導体向け製品は、MCU向け製品が市場の在庫調整等の影響を受けたものの、自動車用ADAS向けが好調に推移したことにより、過去最高の売上となりました。
- ◆ メモリー半導体向け製品もAIを含むデータセンターをターゲットとしたDRAMの投資再開により前年同期比にて大幅に伸長しました



【1】 2024年度 業績結果

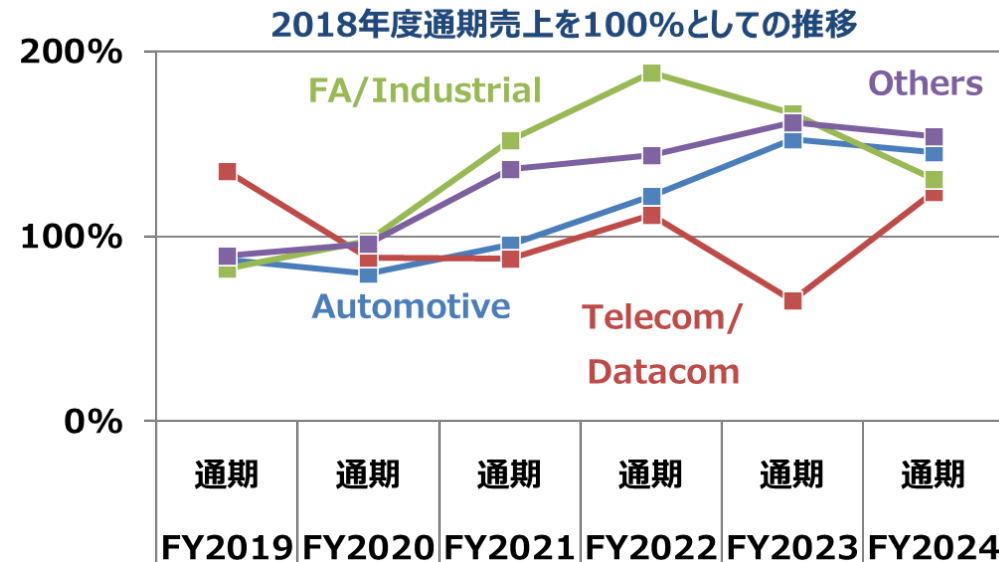
◆ CS事業 業績結果

単位：億円 CS事業



| CS事業 | 前年同期比 | 前年同期増減率 |
|------|-------|---------|
| 売上高 | -2億円 | -1.5% |
| 営業利益 | 2.8億円 | 30.5% |

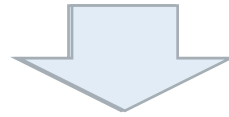
- ◆ 通信機器向け製品は米中経済摩擦の影響が続いている中で、主要顧客での在庫調整が一巡したことに加え、A Iを含むデータセンター向け新製品の販売増もあり利益面に貢献しました
- ◆ 車載機器市場向け製品は新製品投入の効果から堅調に推移しましたが、世界的な需要低迷やE V車の減速などの影響を受けました
- ◆ 産業機器向け製品は市場での在庫調整が長引いており、特に主要市場である欧州顧客での落ち込みが大きく売上・利益に影響が出ました



【1】 2024年度 業績結果

◆ 為替影響

| 通貨 | 2023年度 | 2024年度 | 増減 |
|------------|--------|--------|-------|
| USDレート (円) | 144.64 | 152.56 | +7.92 |
| EURレート (円) | 156.81 | 163.73 | +6.92 |



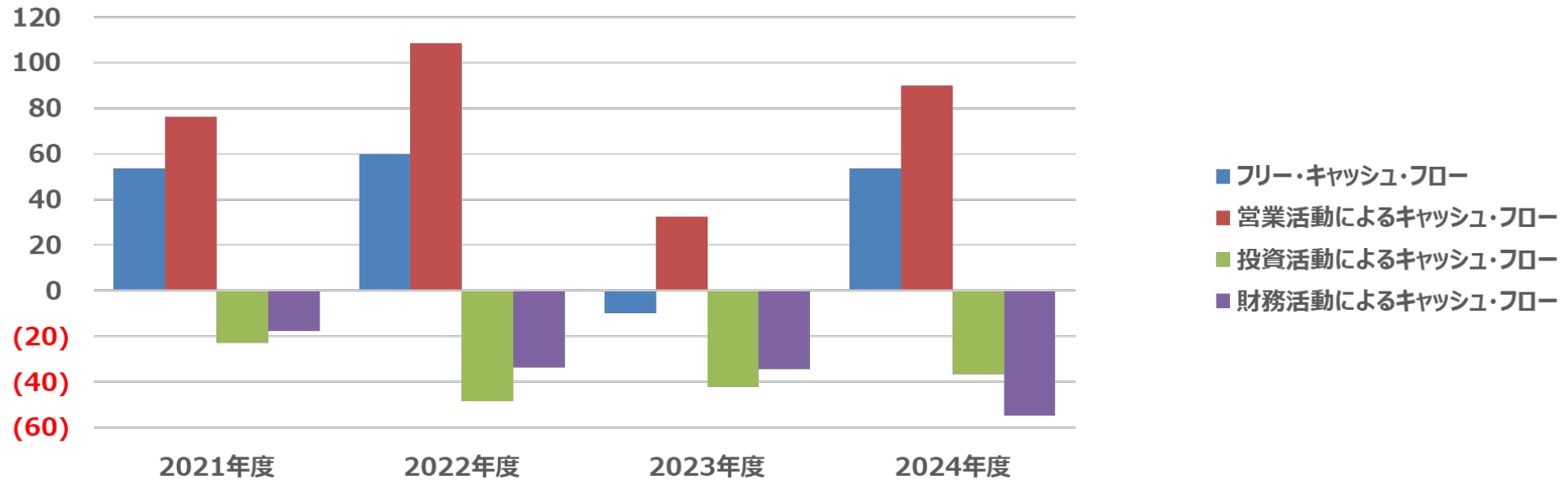
| 対前年同期為替影響額 | |
|------------|--------|
| 売上高 | 20.4億円 |
| 営業利益 | 10.3億円 |

| 通期の為替感応度 (1円影響額/年間) | 売上高影響額 | 営業利益影響額 |
|------------------------|--------|---------|
| USD | 2.0億円 | 1.3億円 |
| EUR | 0.6億円 | 0.03億円 |

【1】 2024年度 業績結果

◆ キャッシュフロー

| 単位：億円 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 前年比 (増減額) |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 76.3 | 108.4 | 32.3 | 90.0 | 57.7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 22.8 | ▲ 48.5 | ▲ 42.2 | ▲ 36.5 | 5.6 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 53.5 | 59.8 | ▲ 9.9 | 53.4 | 63.3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 17.7 | ▲ 33.5 | ▲ 34.3 | ▲ 54.9 | ▲ 20.6 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 135.4 | 167.3 | 130.7 | 127.9 | ▲ 2.7 |



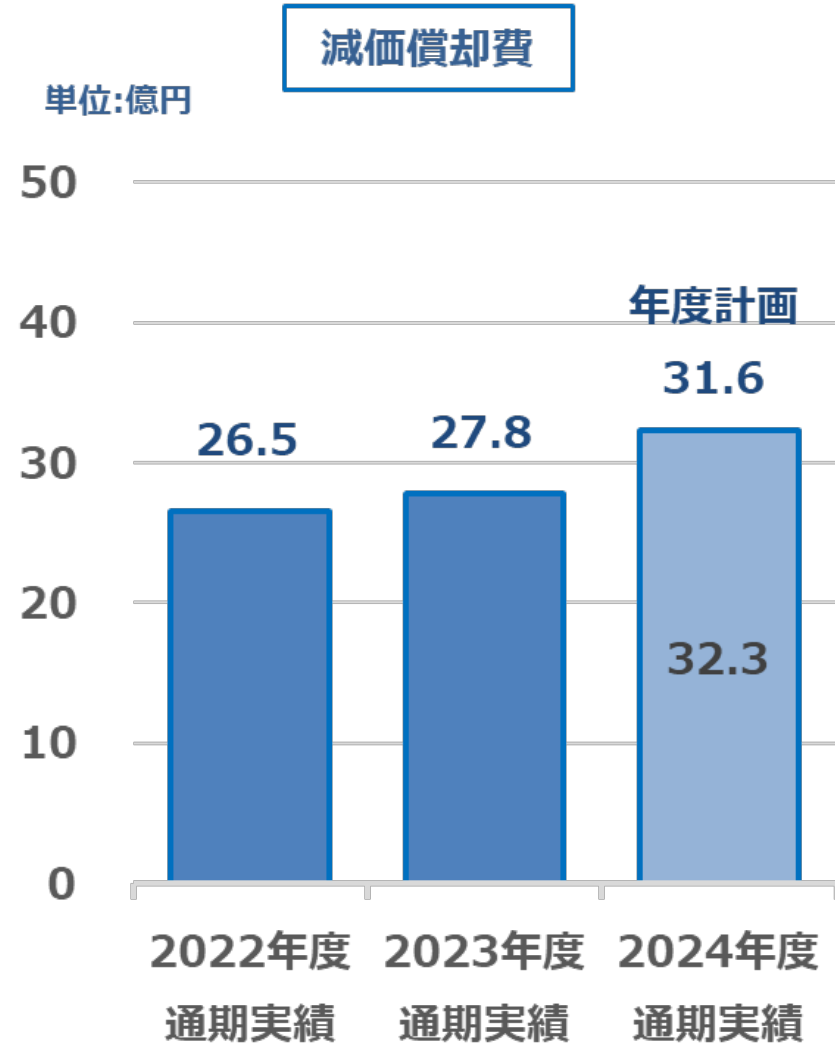
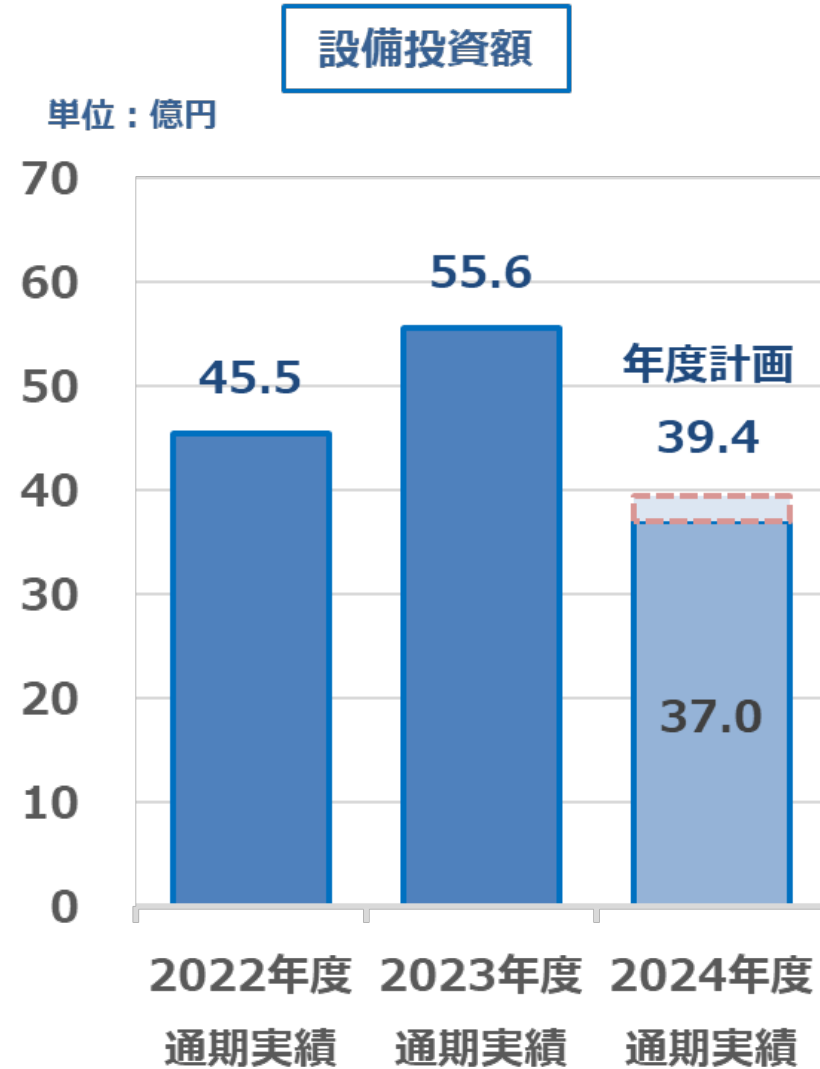
【1】 2024年度 業績結果

◆ 貸借対照表

| 単位：億円 | 2024年 3月末 | 2025年 3月末 | 増減額 | 注記 |
|---------|--------------|--------------|-------|--|
| 流動資産 | 297.1 | 321.1 | 23.9 | 棚卸資産：5.5億円増加 その他流動資産：21.8億円増加（内、19.4億円は預け金） |
| 固定資産 | 213.4 | 212.7 | ▲ 0.6 | |
| 資産合計 | 510.6 | 533.8 | 23.2 | |
| 流動負債 | 92.3 | 104.4 | 12.1 | 未払法人税：9.9億円増加 |
| 固定負債 | 35.6 | 32.7 | ▲ 2.9 | |
| 負債合計 | 127.9 | 137.1 | 9.1 | |
| 純資産合計 | 382.6 | 396.7 | 14.1 | |
| 負債純資産合計 | 510.6 | 533.8 | 23.2 | |

【1】 2024年度 業績結果

◆ 設備投資・減価償却費



【1】 2024年度 業績結果

◆ 株主還元：2024年度 自己株式取得内容

| 取締役会決議内容 | | | 自己株式取得実績 | | |
|-------------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 決議日 | 取得上限株数 (単位：株) | 取得上限金額 | 取得株数 (単位：株) | 取得金額 | 取得期間（受渡日基準） |
| 2024年5月14日 | 500,000 | 1,000,000,000円 | 360,900 | 999,979,900円 | 2024年7月3日～2024年10月31日 |
| 2025年2月5日 | 450,000 | 1,000,000,000円 | 450,000 | 962,417,300円 | 2025年2月10日～2025年3月14日 |
| 2025年3月21日 | 1,250,000 | 2,500,000,000円 | 245,600 | 561,463,400円 | 2025年3月26日 |
| 2024年度取得合計 | 2,200,000 | 4,500,000,000円 | 1,056,500 | 2,523,860,600円 | ----- |

【1】 2024年度 業績結果

◆ 2024年度 配当について

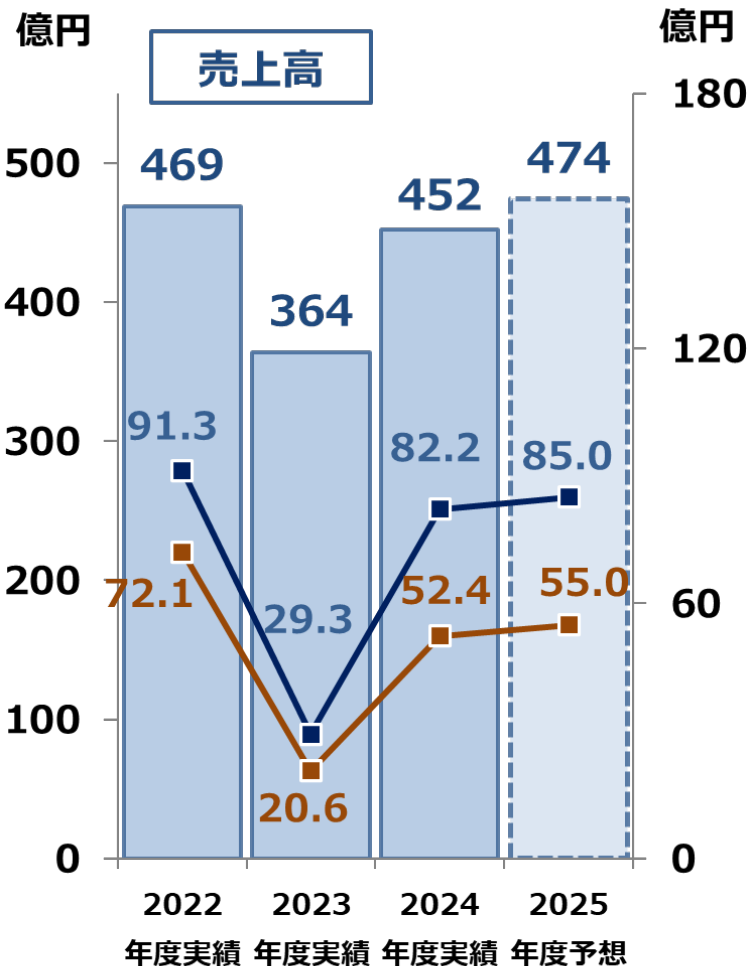
- 当社グループは、2023年度を初年度とする3カ年中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）において、配当性向30%以上を目指すことを公表しております。株主還元向上の一環として、2025年2月5日に公表いたしました配当予想通り、期末配当の金額を決定いたしました。

| | 2024年5月14日 公表値 | 2025年2月5日 公表値 | 2025年5月13日 公表値 |
|------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1株当たり配当金 | 74円 中間配当 35円 期末配当 39円 | 89円 中間配当 35円 期末配当 54円 | 89円 中間配当 35円 期末配当 54円 |
| 配当総額 | --- | --- | 1,754百万円 |
| 配当性向（連結） | 30.3% | --- | 34.3% |
| 純資産配当率（連結） | --- | --- | 4.6% |

- なお、2025年3月期の期末配当につきましては、2025年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

【2】 2025年度 業績予想

◆ 連結 業績予想



◆ 米国の関税措置による当社の事業及び業績への影響は、発表日時点にて直接影響が見込まれる部分は業績予想に織り込んでおります。今後の関税措置による状況の変化において、開示すべき重大な影響が見込まれる場合には速やかに公表いたします。

| 単位：億円 | 2024年度 実績 | | 2025年度 予想 | | | |
|---------|-----------|--------|-----------|-------|--------|-------|
| | 上期 | 通期 | 上期 | 前年同期比 | 通期 | 前年同期比 |
| 売上高 | 275 | 452 | 253 | ▲ 22 | 474 | 21 |
| 営業利益 | 68.3 | 82.2 | 60.5 | ▲ 7.8 | 85.0 | 2.7 |
| 経常利益 | 61.6 | 76.8 | 57.5 | ▲ 4.1 | 79.0 | 2.1 |
| 当期純利益 | 40.9 | 52.4 | 40.0 | ▲ 0.9 | 55.0 | 2.5 |
| EPS (円) | 200.77 | 259.47 | 216.88 | 16.11 | 298.58 | 39.11 |

2025年度 連結業績予想の前提となる為替レート

| 為替レート | FY2024通期 | FY2025通期 | 増減 |
|---------|----------|----------|---------|
| USD (円) | 152.56 | 140.00 | ▲ 12.56 |
| EUR (円) | 163.73 | 155.00 | ▲ 8.73 |

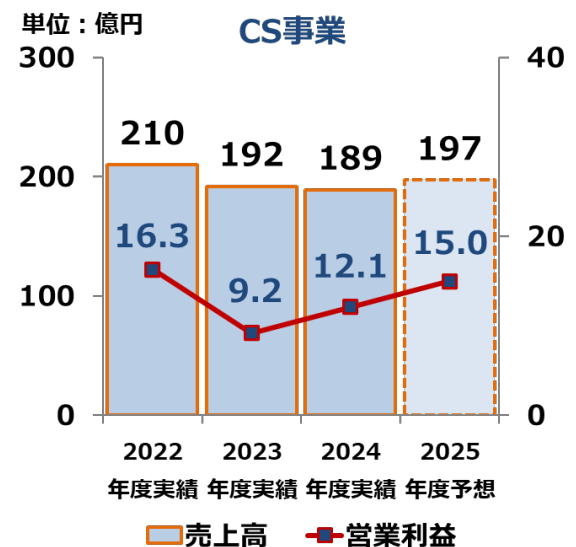
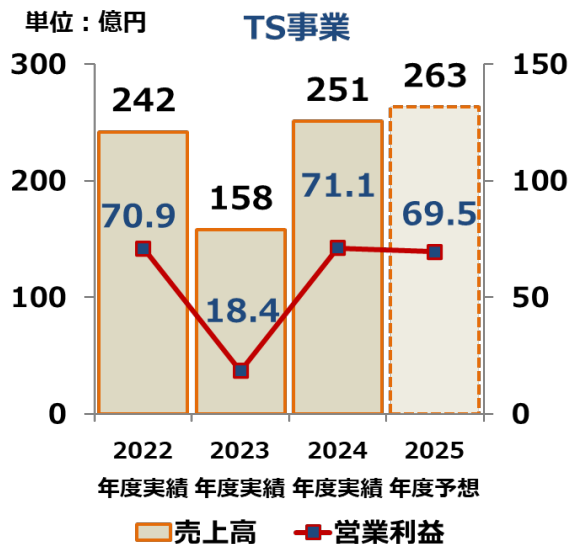
【2】 2025年度 業績予想

◆事業別 業績予想

| 単位：億円 | | 2024年度 実績 | | 2025年度 予想 | | | |
|-------|-----------------|-----------|-------|-----------|-----------|------|-----------|
| | | 上期 | 通期 | 上期 | 前年 同期比 | 通期 | 前年 同期比 |
| TS事業 | 売上高 | 171 | 251 | 150 | ▲ 21 | 263 | 12 |
| | 営業利益 | 63.7 | 71.1 | 53.0 | ▲ 10.7 | 69.5 | ▲ 1.6 |
| CS事業 | 売上高 | 98 | 189 | 96 | ▲ 1 | 197 | 7 |
| | 営業利益 | 5.2 | 12.1 | 7.5 | 2.2 | 15.0 | 2.8 |
| OPT事業 | 売上高 | 5 | 12 | 7 | 1 | 13 | 1 |
| | 営業利益 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 | 0.1 | 0.5 | 0.3 | 0.5 |
| その他 | 営業利益 (連結調整額) | ▲ 0.2 | ▲ 0.7 | ▲ 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.9 |
| 合計 | 売上高 | 275 | 452 | 253 | ▲ 22 | 474 | 21 |
| | 営業利益 | 68.3 | 82.2 | 60.5 | ▲ 7.8 | 85.0 | 2.7 |

【2】 2025年度 業績予想

◆ 事業別 業績予想



TS事業：

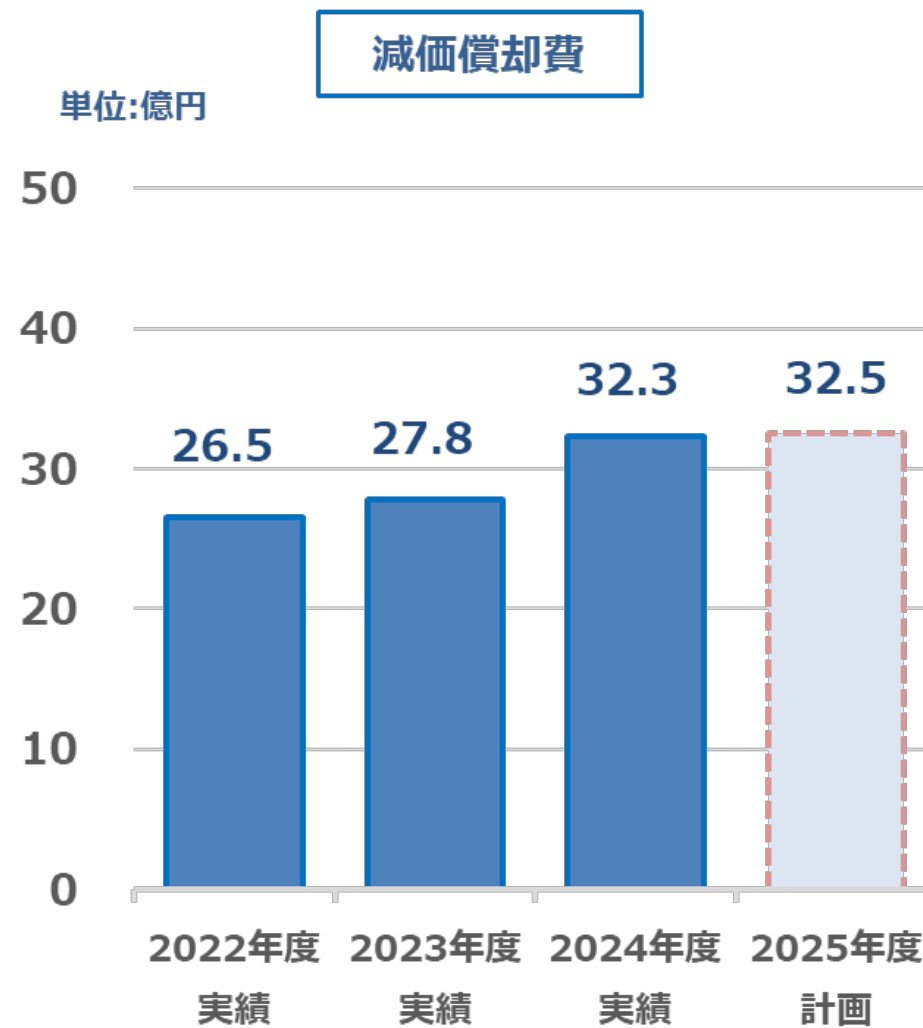
- ◆ テスト用ソケットは、主力のスマートフォンを含むモバイル機器市場向け製品は順調な推移を見込んでおります
- ◆ メモリ半導体用ソケットは、生成A Iを含むデータセンター向けを中心としたD R A M向け製品は順調な推移を見込んでおりますが、N A N D向け製品は回復が遅れている中でデータセンター向け製品の投資再開に期待をしております
- ◆ ロジック半導体市場では自動車A D A S向けを中心に前年度下期比で堅調な推移を見込んでおりますが、M C U向け製品の市場在庫調整解消にはまだ時間を要すると見込んでおります

CS事業：

- ◆ 通信機器市場向け製品は、米中経済摩擦の影響が続きますが、A Iを含むデータセンターへの投資が活発化しサーバー及び周辺機器の需要の拡大を見込んでおります
- ◆ 車載機器市場向け製品は、世界的な需要低迷やE V車の減速による生産台数への影響を見込んでおります
- ◆ 産業機器市場向け製品は、主力の欧州市場での在庫調整の長期化が懸念されます

【2】 2025年度 業績予想

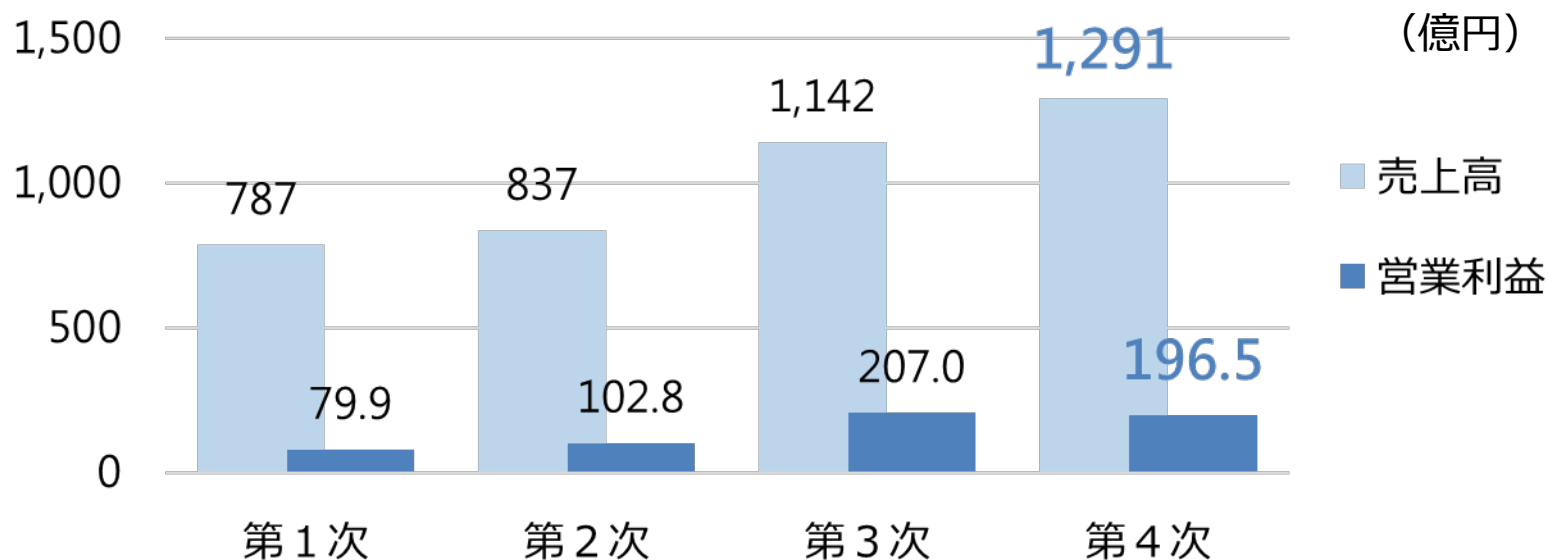
◆ 設備投資・減価償却費計画



中長期的な成長に向けて

第4次中期経営計画の進捗

これまでの中計実績と4次中計の見通し



第4次中計の見通し

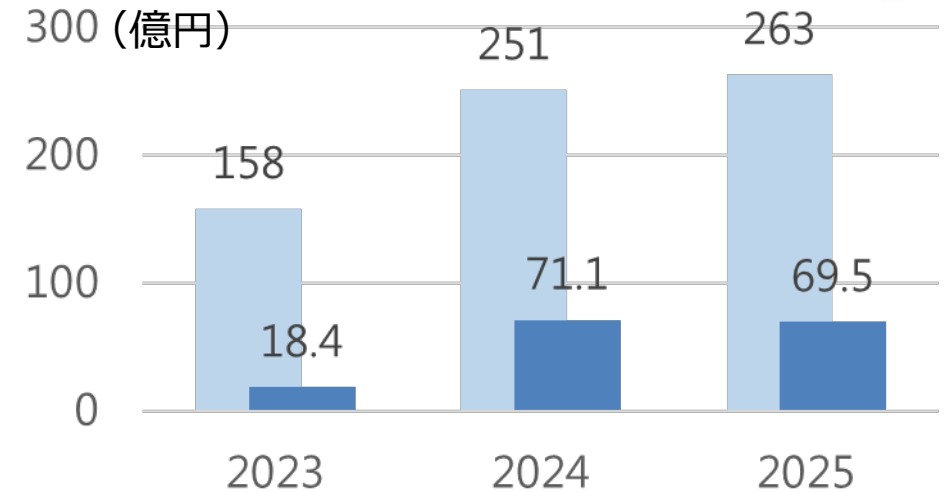
- ✓ 売上高と営業利益の着実な成長（第3次中計比）売上+13%/営業利益-5%
- ✓ ROE、配当性向、総還元性向
- ✓ 生産キャパシティの拡大（2022年度比較）+40%

次期中計の方向性

- ✓ より強みにフォーカスしてさらに事業を強化
- ✓ 戦略を実行する各組織能力を強化
- ✓ 資本政策、キャッシュフローの強化
- ✓ 未来への投資

第4次中計の目指す姿

- 半導体市場の伸長と進化に追従した部品生産技術力と社内一貫生産体制をさらに強化して、次世代の半導体ニーズに対応する
 - テストソケット分野が大きく成長を牽引し、バーンインソケット分野もロジックが着実に伸長してメモリが市況回復してきた



1 テストソケット：

- 次世代ロジック半導体のテスト市場への参入を目指す

- スマートフォン/PC向けはAI機能強化で伸長、また車載・ネットワークなど他の分野に裾野が広がる

2 メモリー用バーンインソケット

- メモリー半導体の世代交代と伸びる市場を強化

- NANDは低調に推移するものの、DRAMは市況が回復してDDR/GDDRともに伸長

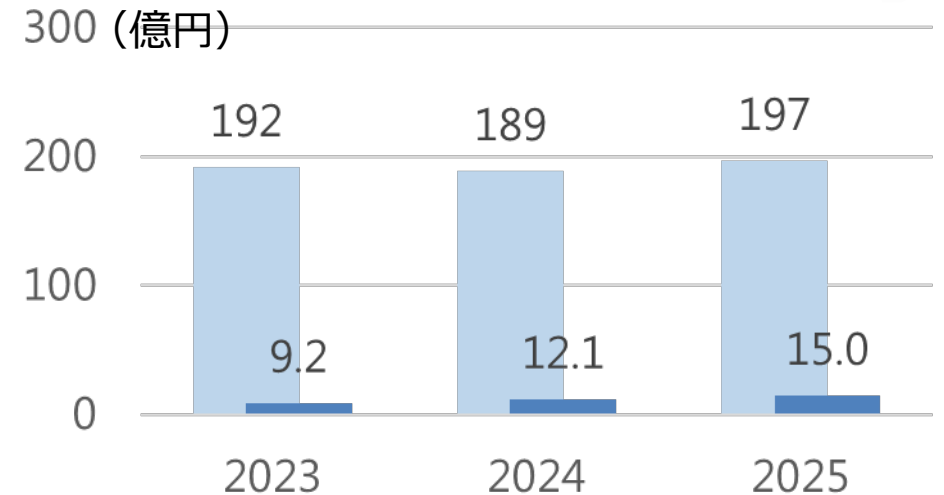
3 ロジック用バーンインソケット

- 車載ADAS向けの強化に続いて、自動運転システムやITSに対応した次世代の半導体向け製品を拡充

- 車載全般は低調に推移するものの、ADAS向けや自動運転を視野に新しいデバイスは伸長

第4次中計の目指す姿

- 重点市場（通信インフラ・産業機器・車載）へ投資を集中し、コア技術をさらに磨きグローバルニッチトップとなる製品を創出する
 - 通信市場が主力のバックボーンネットワークから成長分野であるデータセンター向けに需要が拡大



1 通信インフラ市場：

- 業界トップクラスの高速伝送技術を駆使し他社に先駆けた次世代プラットフォーム対応製品を開発する
 - ハイパースケールデータセンター向けの新製品開発とラインアップを拡大

2 産業機器市場：

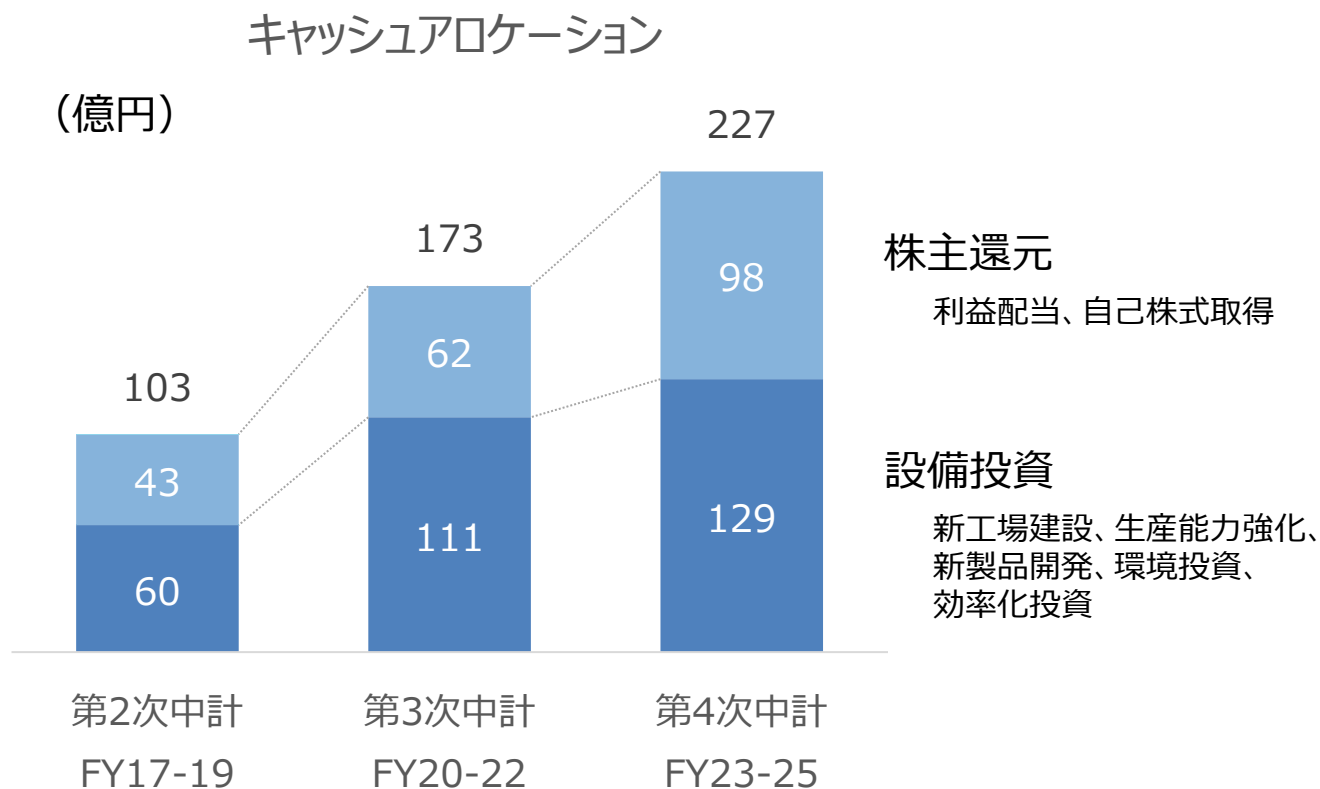
- 産業用I/Oコネクタ製品のラインアップ拡充による欧州市場のさらなる拡大と半導体製造装置分野を広げる
 - 欧州市場は在庫消化が遅れて低迷するも産業用インターフェースコネクタのラインアップを拡大

3 車載市場：

- ADAS/自動運転向け次世代高速伝送規格製品のラインアップ拡充とEVソリューション分野への参入
 - カメラモジュールコネクタの採用拡大、EVソリューション分野の立ち上がり

第4次中期経営計画の進捗

これまでの中計実績と4次中計の見通し

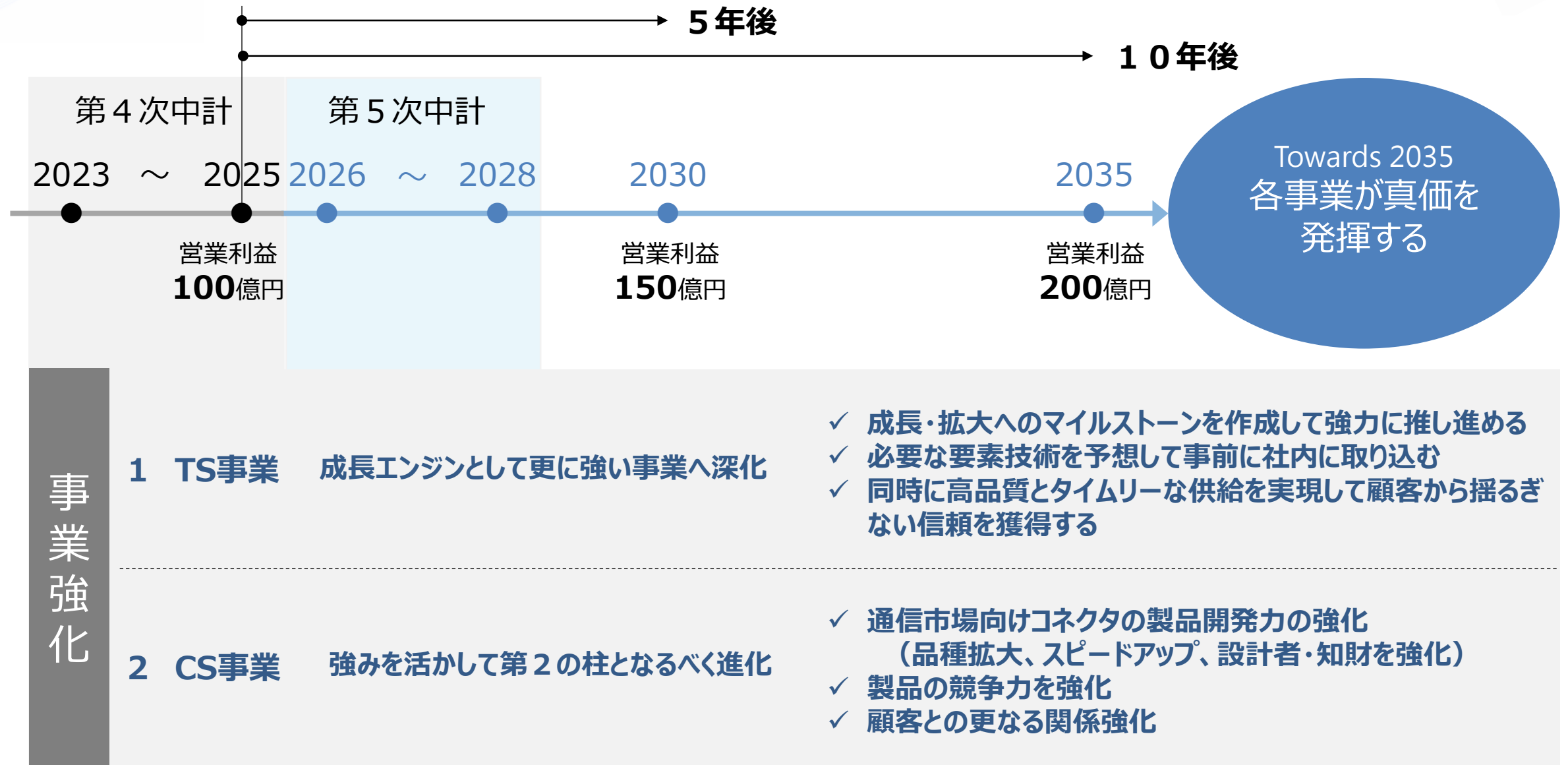


第4次中計は、積極的な設備投資（国内・海外の新工場建設、生産能力向上、環境投資等）と安定的な配当および機動的な自己株式取得を実施

次期中計の方向性

- ✓ 将来に向けて積極的な成長投資を継続する（競争力向上）
- ✓ グローバルニッチトップとなる製品開発を更に強化
- ✓ 安定的な配当と株主還元の実施
- ✓ 未来のための戦略投資

中長期的な成長に向けた重点施策



中長期的な成長に向けた重点施策



機能強化

1 社内（組織力・実行力）の強化と外部の活用

- ✓ それぞれの部門や分野に精通する、また提案力を上げる（産業・顧客・技術・専門分野）
- ✓ 不足しているものは、社内に取り込むか、また外部を活用する

2 資本政策、キャッシュアロケーションの強化

- ✓ 投資目的の達成と好循環（設備投資、戦略投資、人的資本への投資など）
- ✓ 資本コストを上回るROICの達成

3 未来への投資

- ✓ 新しい技術や将来発展しそうな分野への先行投資
- ✓ イノベーションへの足掛かり

ご清聴ありがとうございました

※注意事項

本資料は、2025年5月13日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部 古畑 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp